

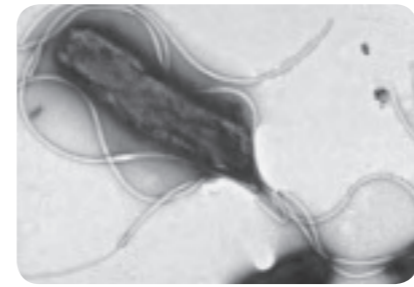
### 子どものピロリ菌対策に取組む

バーンデー健診でピロリ菌検査を無料で実施している喜茂別厚生クリニックに、ピロリ菌に詳しい札幌厚生病院小児科主任部長の今野武津子先生が来られました。今野先生は、子どものピロリ菌対策に熱心に取り組まれています。その理由について、次のようにお話しくださいました。

「ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)とこの菌は、30年ほど前に胃の粘膜から発見された細菌です。胃炎を引き起こし、それが長期に及びると胃壁が鳥肌のようにこぼこになる。結節性胃炎となり、その後長期間を経て萎縮性胃炎になると、胃がん発症の危険性が増すことがわかってきました。逆に言えば、このピロリ菌を除去すれば胃がんの危険性が飛躍的に少なくなることも、最近の研究でわかってきたのです。」

一般に高齢者にピロリ菌が多いのは、子どもの頃の衛生

## 第19回 健康診断でいつまでも健康に



ピロリ菌 (写真提供：今野武津子先生)

状態に原因があると言われるのですが、薬を飲んで除菌することが効果的な胃がん予防法として注目されています。でも、私が特に関心を持っているのは、子どものピロリ菌です。

昔と違って今は衛生面が大きく向上していますので、子どもにピロリ菌が汚染された水や食べ物から感染する状況はほとんどありません。一方で、ピロリ菌のいる母親から幼児期の子どものピロリ菌が感染するケースがかなりあるのです。離乳食を与えるときの口移しなども、原因の一つです。ですから、子どもに感染したピロリ菌を除菌することで、その子の将来における胃がんの危険性を大きく減らすことができるのです。年齢的には1歳以上になってからピロリ菌の有無を検査し、5歳以上になったらピロリ菌のいる子に1週間薬を与えて除菌するのが効果的です。子どものピロリ菌保有者は年々減少しており、10%弱程度と推測されます。」

### ◆スズラン俳句会◆

幾千年澄む水呉れし羊蹄山  
豪音の川音つむむせみ時雨  
月眺め虫の声聞く齢かな  
遠野路やカッパの淵の水澄めり  
水澄むや尻別川の土堤柳  
虫時雨空の明るさ農夫にも  
取れ立てを供へて二人の良夜かな  
若茄子の紫紺を暫し愛でて割る  
人の名を聞いて忘れて水澄めり  
パソコンの並ぶ医務室虫すだく  
水澄むや金沢で買ふ竹しゃもじ  
こすもすや風のいちにち優しかり

### ◆喜茂別短歌会◆

野良終へて家路に急ぐ道端に  
盆踊り櫓太鼓のメロデーに  
鏡の吾れにそっと紅さす  
とめどなく壊れつづける人の世の  
芒の穂立ちてほおぎ色付きぬ  
宵宮祭カラオケ名手声透り  
初盆を迎へし君は永年の  
良き思ひ出を残して逝くも

- |       |       |        |       |       |      |       |       |       |        |       |       |
|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 井上 双葉 | 鈴木章実代 | 小出 盛子  | 吉見 啓一 | 佐藤 紅葉 | 向 三郎 | 千葉 繁男 | 佐藤 翠虹 | 三間 登志 | 福井 富子  | 高谷羽瑠子 | 辻口秋草子 |
| 飯田 北州 | 桑原 博美 | さとうとみえ | 三間 恵子 | 佐藤百合子 | 栄花 豊 | 向 三郎  | 飯田 北州 | 桑原 博美 | さとうとみえ | 三間 恵子 | 佐藤百合子 |

## 健康通信



# ピロリ菌検査をして、胃がんの予防を!!

### 胃がんの現状

胃がんの死亡者数は、年間約5万人。高齢化に伴い、死亡者数は男性で増加、女性でも横ばいです。胃がんの発生の大きな原因が胃の粘膜に感染した細菌「ヘリコバクターピロリ菌」です。主に乳幼児期に感染し、胃に炎症を起こし、慢性胃炎や胃潰瘍の原因にもなります。60歳以上では80%以上

が感染しているといわれ、ピロリ菌を除菌することで、団塊世代の胃がんの約3分の1は予防可能と言われています。

**検査は、どうやるの?**  
今年4月より、喜茂別厚生クリニックのバーンデー健診でピロリ菌検査が無料で受けられます。事前に家庭で便をとる簡単な

胃潰瘍や十二指腸潰瘍と診断されている場合の除菌治療は健康保険が適用されますが、それらの診断がない胃がん予防の除菌は保険

検査です。国民健康保険以外の方は、病院で健診を受ける場合、一緒にピロリ菌検査を受けられることがあるので、ご確認ください。ピロリ菌は、便検査以外に胃カメラ、血液検査・息を吐く検査があります。

**ピロリ菌の除菌後**  
除菌することで胃がんのリスクは減らせますが、ピロリ菌治療後も定期的な胃の検査を受けることが重要です。

適用外となります。ピロリ菌が見つかった場合の除菌治療は、医師との相談により決定します。

除菌治療は、抗生物質などを1日2回、1週間服用します。これで約8割が除菌できると言い、除菌できなかった場合は薬の組み合わせを変えて再び試みます。

**ピロリ菌の除菌後**  
除菌することで胃がんのリスクは減らせますが、ピロリ菌治療後も定期的な胃の検査を受けることが重要です。

## ちょっと耳寄りな話

厚生クリニック 桂院長の 第31回



### 認知症について理解を深める②

認知症は、家族や地域の人など周りの人たちがつらい思いをする病気ですが、周りの人たちの理解がほかの病気以上に必要だ、とも言えます。そこで、認知症がどんな病気なのか正しく知る事が、周りの人たちにとっても重要になります。

認知症は、端的にいうと脳の細胞が減っていく病気ですが、主に二つの型があります。

その一つは、細胞が少なくなる現象で、アルツハイマーと言われる現象で、脳細胞が壊れていく現象で、脳梗塞などによる血管性認知症と言われる症状です。

脳細胞のことはわからない事がまだたくさんあって、認知症の原因についてもはっきりしていないのです。ただ、脳細胞が少なくなるという事は、自分で自分の事を判断できなくなることを意味しますから、周りの人が気が付いて対処しなくてはいけない事になりますよね。次回、そのことを話しましょう。

### 保健師からのメッセージ

できることから始める健康づくり

無料で受けられる子どものピロリ菌検査も受け付けています(18歳まで)。子どもの時には、なかなか受ける機会がない検査です。将来の胃がんのリスクを減らすことにつながります。お気軽にお問い合わせください!!



(左から) 菊田有美保健師、今橋文代保健師、中沢友美保健師

### 健康づくり係よりお知らせ

## バーンデー健診

- 場 所：喜茂別厚生クリニック
- 対象者：30～74歳の国民健康保険の方
- 予約先：喜茂別厚生クリニックに直接、お電話ください。

月～金曜日で随時予約受付中です

電話 31-2225

【お問合せ先】  
ふれあい福祉センター健康づくり係  
電話 31-2940 IP端末 31-2941